

那珂川町社会教育施設再編計画
(案)

令和8年 月

-目次-

第1章	はじめに	1
1-1	計画の目的・対象施設.....	1
(1)	背景と目的.....	1
(2)	計画の位置づけ.....	1
(3)	計画の対象施設.....	2
1-2	関連計画	3
(1)	第4次那珂川町行財政改革推進計画（令和4年3月）	3
(2)	那珂川町公共施設等総合管理計画（令和4年5月改訂）	3
第2章	文化施設の現状と課題.....	4
2-1	図書館の現状と課題.....	4
(1)	施設概要.....	4
(2)	劣化度評価.....	11
(3)	施設の現状（まとめ）	11
2-2	公民館の現状と課題.....	12
(1)	施設概要.....	12
(2)	施設内の諸室・機能概要.....	12
(3)	諸室の稼働状況.....	13
(4)	劣化状況.....	14
(5)	劣化度評価.....	17
(6)	施設の状況（まとめ）	17
第3章	文化施設整備計画.....	18
3-1	整備計画の策定.....	18
(1)	図書館の整備方針.....	18
(2)	公民館の整備方針.....	19
(3)	整備計画.....	20
(4)	概算工事費およびライフサイクルコストの試算.....	21
(5)	目標スケジュール.....	25
(6)	新図書館の方向性（提案）	26
3-2	参考	27
(1)	小川公民館 令和5年度利用状況.....	27
(2)	概算工事費単価の参考とした事例の詳細.....	30
第4章	計画の継続的運用指針.....	36
4-1	情報基盤（データベース）の整備.....	36
4-2	推進体制等の整備・構築.....	36
4-3	フォローアップの検討.....	36

第1章 はじめに

1-1 計画の目的・対象施設

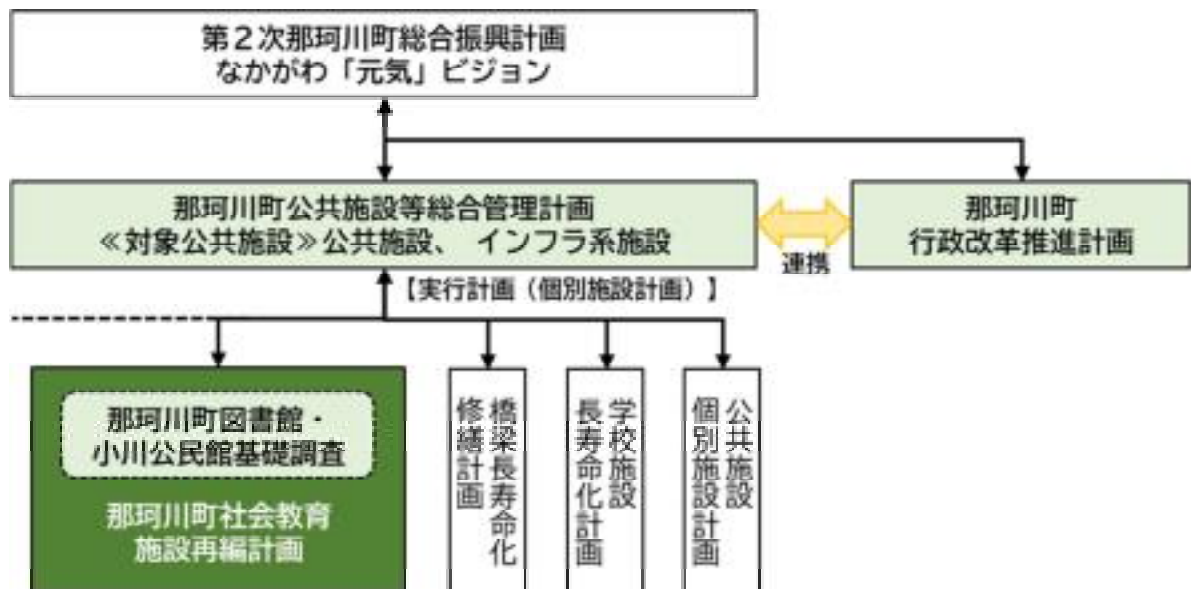
(1) 背景と目的

本町では、国の「インフラ長寿命化基本計画」が平成25年11月に策定されたことなどを踏まえ、町が保有・管理する公共施設（建物）及び道路、下水道などの社会基盤施設（以下、「インフラ」という。）の管理運営や維持更新を長期的・戦略的に行っていくため、「那珂川町公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）」を平成29年3月に策定するとともに、令和4年3月に「那珂川町公共施設個別施設計画（以下、「個別施設計画」という。）を策定し、公共施設等の維持管理及び運営の適正化に取り組んできたところです。

その後、国では平成30年2月に「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の改定について」、令和3年1月には「令和3年度までの公共施設等総合管理計画の見直しにあたっての留意事項について」を公表し、これに基づき、総合管理計画を令和4年5月に改訂し、個別施設計画を令和5年3月に改訂したところです。

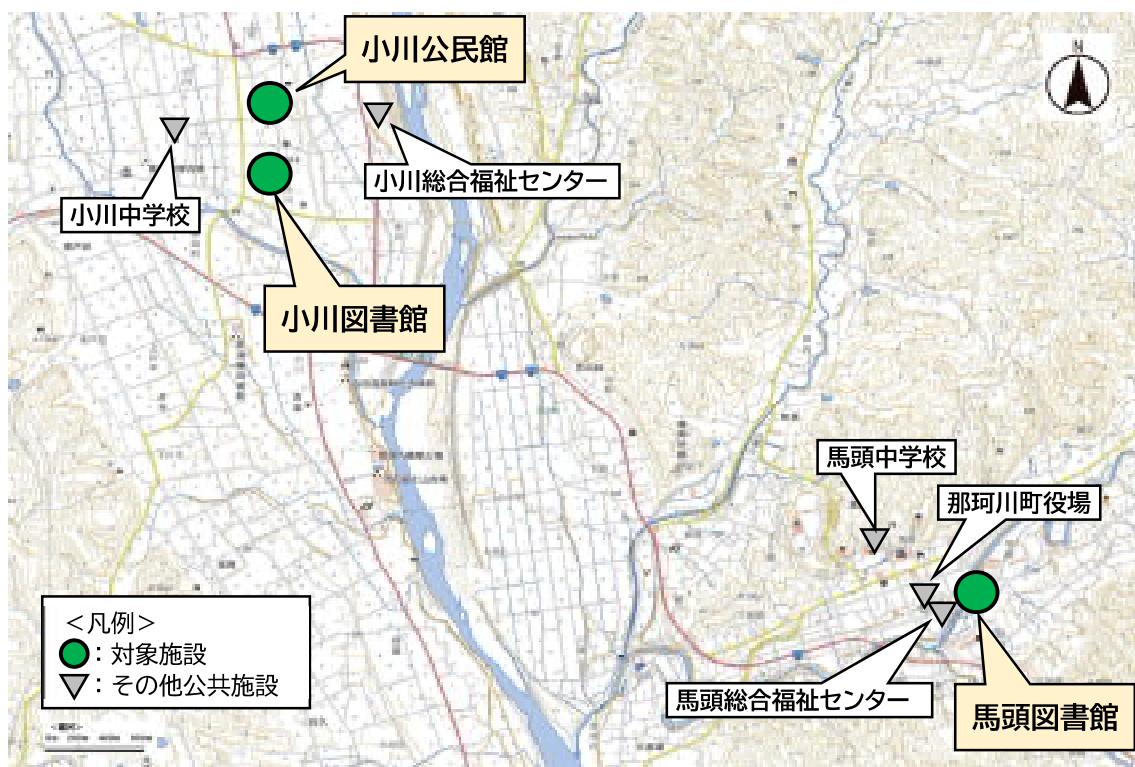
本計画は馬頭図書館、小川図書館、小川公民館の3施設について、老朽化状況および施設の利用状況を踏まえた再編・再配置に関する具体的な方針を策定することを目的とします。

(2) 計画の位置づけ



(3) 計画の対象施設

施設分類	施設名	建物名称	建築年	大規模 改修年	延床面積 (㎡)	構造
図書館	馬頭図書館	図書館	1979 年	-	756.00	鉄骨造
		機械室 (棟)	1979 年	-	20.43	コンクリート ブロック造
	小川図書館	小川図書館	1985 年	2011 年	527.96	鉄筋 コンクリート造
公民館	小川公民館	小川公民館	1976 年	-	1,460.00	鉄筋 コンクリート造



図：対象施設位置図

1-2 関連計画

下記「(1) 第4次那珂川町行財政改革推進計画(令和4年3月)」および「(2) 那珂川町公共施設等総合管理計画(令和4年5月改訂)」にて、公共施設の施設量の適正化に取り組み、公共施設の延床面積縮小を目指す旨の記載があることから、本計画についても、現行計画の方針に則った計画とします。

(1) 第4次那珂川町行財政改革推進計画(令和4年3月)

■取組項目及び取組内容

①施設の統廃合

- 施設の廃止や統合による施設量の適正化に取り組むとともに、民間活力の導入等を踏まえた施設の効率的な管理運営に努める。
- 検討結果に基づき、計画的な施設の統廃合に努めるとともに、統廃合による管理運営上の効果の把握に努める。
- 公共施設等総合管理計画や個別計画の方向性等を踏まえながら、公共施設における延床面積の縮小に取り組む。

出典：第4次那珂川町行財政改革推進計画 p.28 (令和4年3月)

(2) 那珂川町公共施設等総合管理計画(令和4年5月改訂)

③延床面積の縮減目標値設定

今後40年間の公共施設とインフラの更新費用不足額は約515億円、うち公共施設のみ
の更新費用の不足額は171億円となります。この不足額を延床面積の縮減だけで賄うと
仮定した場合、試算では現状の45%を縮減する必要があります。

このことを踏まえ、当面の縮減目標値を「30%の縮減」とし、併せて既存施設の複合化
や統合廃止による経費の縮減を進めることを基本とします。

(目標値) 今後40年間に於いて、公共施設の統合廃止により既存施設の総量を延床面積
ベースで30%(約32,000㎡)縮減を目指す。

出典：那珂川町公共施設等総合管理計画 p.36 (令和4年5月改訂)

第2章 文化施設の現状と課題

2-1 図書館の現状と課題

(1) 施設概要

① 馬頭図書館

施設名	建物名称	建築年	延床面積 (㎡)	構造
馬頭図書館	図書館	1979 年	756.00	鉄骨造
	機械室 (棟)	1979 年	20.43	コンクリートブロック造

- 馬頭図書館は、1979 (昭和 54) 年に馬頭図書館として建築され、蔵書数約 約 76,000 冊 (令和 5 年度時点) のほか、学習スペースを備えた図書館です。
- 2018 (平成 30) 年度に指定管理者制度を導入し、令和 5 年度時点の開館日数約 300 日、年間来館者は約 25,000 人となっています。
- 建築後 45 年が経過していますが、大規模改修は実施されておらず、抜本的な修繕ができていない状況です。



② 小川図書館

施設名	建物名称	建築年	延床面積 (㎡)	構造
小川図書館	小川図書館	1985 年	527.96	鉄筋コンクリート造

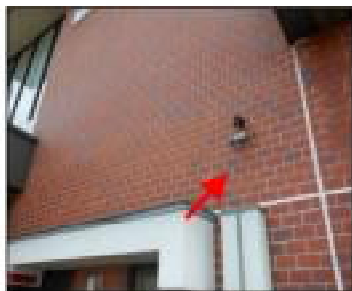
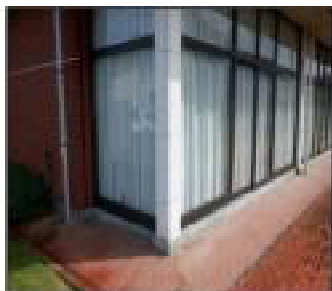
- 「旧小川町健康管理センター」の建物を改修し、小川図書館として供用を開始しました。蔵書数約 44,000 冊 (令和 5 年度時点) のほか、学習スペースを備えた図書館となっています。
- 2018 (平成 30) 年度に指定管理者制度を導入し、令和 5 年度時点の開館日数約 300 日、年間来館者は約 17,200 人となっています。
- 建築後 39 年が経過しており、2011 (平成 23) 年に大規模改修が実施されています。



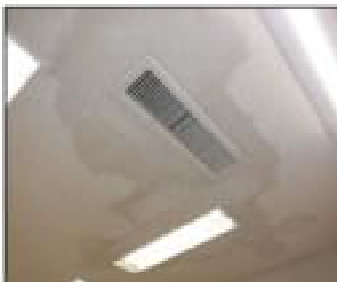
劣化状況

令和5年度に実施した劣化状況調査の結果を下記に示します。

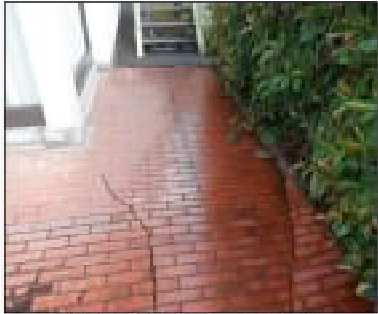
③ 馬頭図書館

建 物 名	馬頭図書館	
評 価 部 位	屋根・屋上	
		
・錆、錆発生、塗装劣化	・防水シートの劣化	
		
・屋根面全体に錆が発生 ・バルコニーの防水シートの浮き	・屋根面全体に錆が発生 ・部分的に劣化が進行	
評 価 部 位	外壁	
		
・外壁にひび割れ	・外壁にひび割れと浮き	・柱にひび割れ ・基礎周りのひび割れ

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和6年3月）

		
・ 樋樋と排気口に錆が発生している	・ 壁面の亀裂	・ 柱部分のひび割れ
評価部位 内部		
		
・ トイレ内壁にひび割れ ・ 他にも多数のひび割れと補修跡がある	・ 天井付近にアスベスト使用の可能性あり	・ 天井に漏水跡 ・ 他にも漏水跡がある
		
・ 天井に漏水跡 ・ 他にも漏水跡がある	・ 内機のズレがある	・ 内壁にひび割れ

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

評価部位	その他
 ・玄関タイルの浮き ・タイルブロック水平になっていない	 ・基礎と基礎廻りにひび割れ ・堅礎下に錆が発生
 ・地盤沈下により、ひび割れが発生	 ・外階段が 30～40mm 傾斜している

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

《劣化状況の総括》

- ・建物全体が地震の影響を受けており、ポーチ部分の柱脚に大きな割れがみられるとともに、外壁から錆汁が流出しており、詳細な耐震診断が必要と思われます。
- ・建物周辺では地盤沈下が起こっており、外部階段（非常階段）が傾いた状態のため、非常時の使用は避けた方がよいと思われます。
- ・屋根全体に錆が発生しており、ルーフバルコニーの防水シートに水が入り込み膨らみが出ています。また、広範囲に渡り、雨染みがあるため、防水機能はかなり喪失しているものと思われます。
- ・事務室上の雨漏りは、雨樋から堅礎部分で防水機能が失われていると思われ、大雨時には漏水が起こる可能性があります。
- ・トイレ掃除道具室の上部を確認したところ、被覆材があり、アスベストが含有されている可能性があり、大規模改修の際に除去を推奨します。

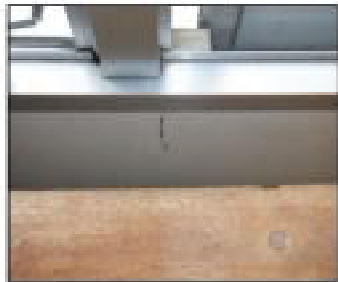
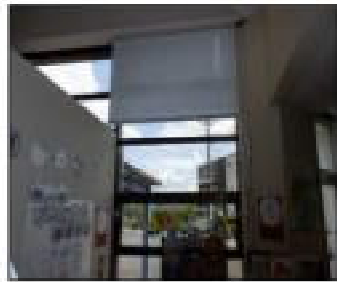
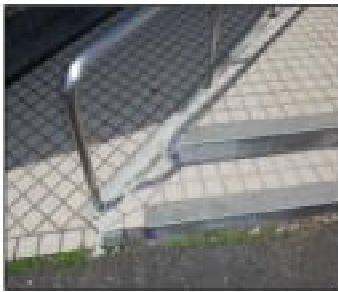
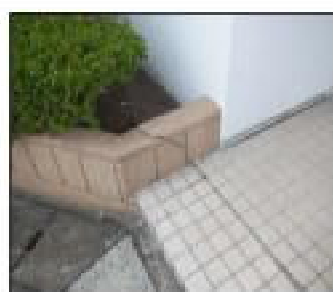
以上の状況により、**屋根の防水関連の修繕が急務**と思われます。また、**非常階段については、補強または付け替え等の対策が必要です。**

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

④ 小川図書館

建 物 名	小川図書館
評 価 部 位	屋根・屋上
 ・防水仕上が全体的に摩耗している ・排水口に雑草や土が溜まっている	 ・室外機に錆が発生している
評 価 部 位	外壁
 ・外壁にひび割れ	 ・基礎にひび割れが発生
 ・窓サッシのビード外れ	 ・外壁に欠損と錆が発生

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

評価部位 内部	
	・内壁のひび割れと浮き
	・建具の動作不良
	・内壁のひび割れと漏水跡
	・内壁のひび割れと漏水跡
	・一部の排煙窓が動作不良
	・内壁のひび割れ
評価部位 その他	
	・ポーチタイルの割れ、浮き、白華
	・植装のひび割れ
	・外部ボックスに錆が発生
	・室外機に錆が発生
	・ポーチタイルの割れ、浮き
	・花壇ブロックのひび割れ

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和6年3月）

＜劣化状況の総括＞

- ・全体的に地震による亀裂がみられますが、外壁をエポキシ樹脂等で補修されており、当面は問題ないかと思われます。
- ・補修済みの一部外壁から雨漏りがあり、今後未補修の部分からも雨漏りが始まる可能性もあるため、引き続きメンテナンスが必要です。
- ・屋根の防水塗膜が摩耗しており、修繕が必要です。
- ・建物外周部のタイル等の一部で沈下がみられますが、大きな陥没はしていないため、今後観察が必要です。

以上の状況により、**劣化の進行状況を注視してメンテナンスを継続する必要があります。**特に、防水関連の修繕に関しては、できるだけ早めの対応が必要と思われます。

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

(2) 劣化度評価

令和 5 年度に実施した劣化度評価の結果を下記に示します。

表：総合評価結果

		経過劣化度	構造部劣化度	部位別劣化度					総合劣化度評価点
				屋根・屋上	外壁	内部	機械設備	電気設備	
馬頭図書館	評価係数	1.00	2.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	-
	評価	-	D	D	C	D	C	C	-
	評価点	26.67	10.00	10.00	40.00	10.00	40.00	40.00	-
	劣化度評価点	26.67	20.00	20.00	80.00	10.00	40.00	40.00	236.67
小川図書館	評価係数	1.00	2.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	-
	評価	-	C	C	C	B	B	C	-
	評価点	36.67	40.00	40.00	40.00	75.00	75.00	40.00	-
	劣化度評価点	36.67	80.00	80.00	80.00	75.00	75.00	40.00	466.67

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

表：評価基準

評価	評価点数
A	100点（おおむね良好）
B	75点（部分的に劣化）
C	40点（広範囲に劣化）
D	10点（早急に対応が必要）

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

(3) 施設の現状（まとめ）

馬頭図書館は、多くの部位が劣化度評価で早急に対応する必要がある D 評価であり、老朽化が進行していることから、近いうちに老朽化対策を行う必要があります。

小川図書館については、部分的な劣化が見られるものの、人命にかかわるような緊急性の高い劣化は見受けられませんが、将来的には何らかの老朽化対策（改修、修繕等）が必要であることがわかります。

2-2 公民館の現状と課題

(1) 施設概要

施設名	建築年	延床面積 (㎡)	構造
小川公民館	1976 年	1,460.00	鉄筋コンクリート造

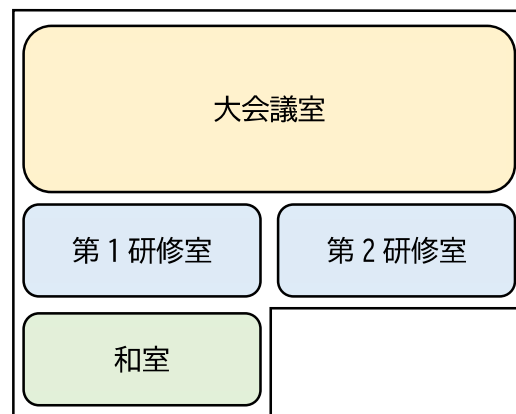
- 小川公民館は、ステージを備えた大会議室、研修室、展示室などの機能を持つ施設であり、地域住民の文化・生涯学習活動の拠点となっています。
- 建築後 48 年が経過する旧耐震基準の建物ですが、大規模改修は行われておらず、耐震診断も未実施です。



(2) 施設内の諸室・機能概要

No.	施設名	室名	規模					特性				設備						備考
			特大	大	中	小	外部	防音	和室	調理	加-リンク	空調	音響	映写	ピアノ	鏡	wifi	
1	小川公民館	大会議室	1								1	1	1		1			
2	小川公民館	和室			1				1			1						50㎡
3	小川公民館	第1研修室			1							1						90㎡
4	小川公民館	第2研修室			1							1						50㎡

大会議室、和室、第 1,2 研修室で構成されており、大会議室は音楽活動（コーラス）、公開講座、会議等、和室は囃子、ヨガ等、第 1,2 研修室は絵画・図工教室等、各種クラブ活動に主に使用されています。



図：諸室構成イメージ図

(3) 諸室の稼働状況

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）における平日、休日（土、日、祝）それぞれの稼働率は下記の通りとなっています。

平日の大会議室の19:30～21:00、和室の10:00～12:00、休日の和室の19:00～21:00についてはほかの室と比べ比較的稼働が高くなっているものの、全体を通して稼働は低い状況です。

表：稼働状況（8:00～15:00）

		8 : 0 0 0 : 8 : 3 0	8 : 3 0 0 : 9 : 0 0	9 : 0 0 0 : 9 : 3 0	9 : 3 0 0 : 0 0	1 0 0 0 : 1 0 0 3	1 0 3 0 : 1 1 0 0	1 1 0 0 : 1 1 0 3	1 1 3 0 : 1 2 0 0	1 2 0 0 : 2 3 0 3	1 3 0 0 : 3 4 0 0	1 3 3 0 : 4 5 3 0	1 4 0 3 : 1 4 0 0	1 4 3 0 : 1 5 0 0	
平日	大会議室	2.0%	5.3%	8.6%	13.9%	13.9%	19.2%	19.2%	19.2%	0.0%	0.0%	0.8%	3.3%	4.1%	4.1%
	和室	0.0%	0.4%	0.4%	1.2%	36.7%	36.7%	37.1%	37.1%	0.4%	0.4%	20.0%	20.4%	20.4%	20.4%
	第1研修室	0.0%	0.4%	20.0%	23.3%	24.9%	24.9%	24.9%	24.9%	2.0%	2.0%	3.7%	12.2%	12.2%	12.2%
	第2研修室	0.0%	0.0%	9.0%	18.0%	18.0%	18.4%	18.4%	18.4%	8.6%	8.6%	8.6%	9.0%	9.4%	9.4%
休日	大会議室	3.5%	9.7%	10.6%	11.5%	11.5%	11.5%	11.5%	11.5%	0.9%	0.9%	0.9%	2.7%	2.7%	2.7%
	和室	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
	第1研修室	0.9%	1.8%	4.4%	5.3%	6.2%	6.2%	6.2%	6.2%	0.0%	0.0%	17.7%	18.6%	18.6%	18.6%
	第2研修室	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%	0.9%	1.8%	1.8%	1.8%

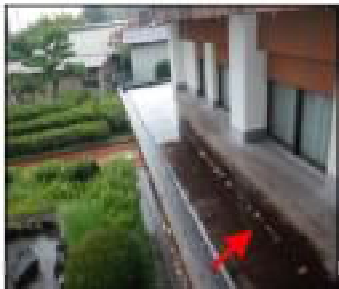
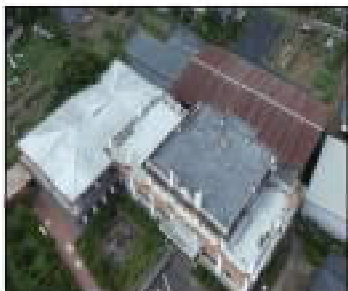
表：稼働状況（15:00～22:00）

		1 5 : 0 0 : 1 5 : 3 0	1 5 : 3 0 0 : 6 6 : 0 3	1 6 : 0 0 : 1 6 : 7 0	1 6 : 3 0 0 : 7 7 : 3 0	1 7 : 0 0 : 1 7 : 8 0	1 7 : 3 0 0 : 8 8 : 3 0	1 8 : 0 0 : 1 8 : 9 0	1 8 : 3 0 0 : 9 9 : 3 0	1 9 : 0 0 : 2 0 0 : 2 1 : 2 1	2 0 : 3 0 : 2 1 : 2 1	2 0 : 3 0 : 2 1 : 2 1	2 1 : 0 0 : 2 2 : 2 2	2 1 : 3 0 : 2 2 : 2 2	
平日	大会議室	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	0.0%	0.0%	0.8%	20.0%	20.4%	38.4%	38.8%	38.8%		
	和室	20.4%	20.4%	20.4%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.6%	20.4%	21.6%	21.6%	21.6%		
	第1研修室	10.2%	10.2%	10.2%	10.2%	0.0%	0.4%	0.8%	1.2%	1.2%	2.0%	2.0%	2.0%		
	第2研修室	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
休日	大会議室	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	17.7%	22.1%	22.1%	22.1%		
	和室	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%		
	第1研修室	18.6%	18.6%	18.6%	18.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	第2研修室	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%		

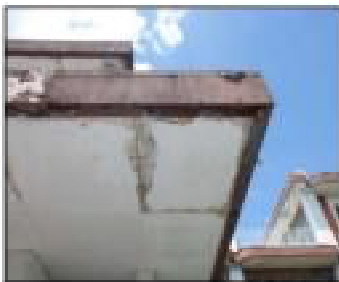
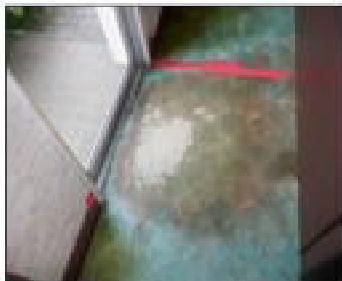
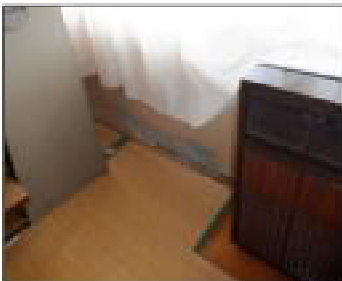
(4) 劣化状況

令和 5 年度に実施した劣化状況調査の結果を下記に示します。

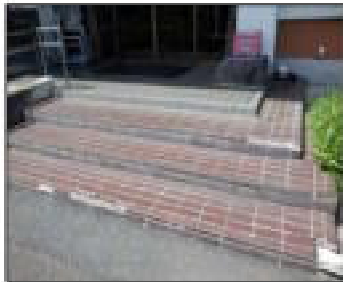
① 小川公民館

建 物 名		小川公民館	
評 価 部 位		屋根・屋上	
	・室外機に錆が発生 ・防水塗装が摩耗		・手すりに錆が発生 ・立ち上がり部分に錆が発生 ・防水塗装が摩耗
	・防水塗装の摩耗		・屋根材上面の塗装剥がれ
	・全体的に防水層の摩耗		・排水口付近に土の堆積

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

評価部位		外壁
		
・軒下に漏水跡	・ポーチ柱にひび割れ ・軒下に漏水跡	・立ち上り側面の塗装剥がれ
		
・立ち上り側面の塗装剥がれ ・軒下に漏水跡	・屋根裏部分の塗装剥がれ ・外壁の欠損	・外壁のひび割れ
評価部位		内部
		
・窓ガラスの破損	・天井のひび割れ	・内壁のひび割れ
		
・床材の劣化	・内壁のひび割れ	・内壁の欠損

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和6年3月）

		
・天井の漏水跡と仕上げ材の剥がれ	・梁材のひび割れ	・窓ガラスのひび割れ
評価部位 その他		
		
・玄関タイルの破損と浮き	・タイルの破損と浮き	・コンセント関連ボックスの破損と錆発生
		
・外階段の踊り場下面に錆発生	・室外機に錆発生 ・手すりに錆発生 ・防水塗装の摩耗	・煙突上部の劣化

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

《劣化状況の総括》

- ・全体的に地震の影響を受けており、柱脚、壁面、梁材等に亀裂がみられます。
 - ・内部のトイレの壁のタイルに膨らみや、亀裂があり、危険な状態です。
 - ・建物外周のタイル部に、広い範囲で浮きがみられます。
 - ・大会議室の天井に、雨漏り跡が複数箇所みられ、屋根の防水調査が必要です。
 - ・屋上階、ルーフバルコニーの防水塗装は、ほぼ機能していないと思われ、今後雨漏りが増える可能性が大きいと思われます。危険箇所については使用の検討が必要です。
- 以上の状況により、構造補強及び防水対策等の早急な改修工事が必要です。

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

(5) 劣化度評価

令和 5 年度に実施した劣化度評価の結果を下記に示します。

表：総合評価結果

		経過劣化度	構造部劣化度	部位別劣化度					総合劣化度評価点
				屋根・屋上	外壁	内部	機械設備	電気設備	
小川公民館	評価係数	1.00	2.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	-
	評価	-	D	D	D	D	C	D	-
	評価点	21.67	10.00	10.00	10.00	10.00	40.00	10.00	-
	劣化度評価点	21.67	20.00	20.00	20.00	10.00	40.00	10.00	141.67

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

表：評価基準

評価	評価点数
A	100点（おおむね良好）
B	75点（部分的に劣化）
C	40点（広範囲に劣化）
D	10点（早急に対応が必要）

出典：那珂川町 図書館・小川公民館基礎調査業務 報告書（令和 6 年 3 月）

(6) 施設の状況（まとめ）

ほとんどの部位で早急に対応する必要がある D 評価であり、今後起こり得る巨大地震の際に人的な被害が想定されるため、早急に老朽化対策を行う必要があります。

第3章 文化施設整備計画

3-1 整備計画の策定

(1) 図書館の整備方針

① 図書館の配置方針

本町では、関連計画において公共施設の施設量の適正化に取り組み、公共施設の延床面積縮小を目指すとしており（1-2 関連計画参照）、将来的には図書館を1館に集約することが望ましいところですが、現時点においては、両施設とも稼働が高いことから（2-1 施設と現状の課題（1）施設概要参照）、当面は現状通り2館体制を維持します。

② 個別図書館の方針

【馬頭図書館】

劣化度評価の結果を踏まえ、劣化が進行していることから、大規模地震が発生した際に倒壊する恐れが比較的高いため（2-1 施設の現状と課題（1）施設概要参照）、改修、修繕では抜本的な解決にならないことに加え、現有施設は、駐車場が狭く、自動車での来館者にとって利便性が悪いことから、利便性の高い、別位置での建替え（移転）とします。

なお、建替え（移転）完了までの期間に、現有施設の不具合が発生した場合は、応急処置的に小規模修繕で対応します。

【小川図書館】

2011年に大規模改修が実施されており、劣化は部分的に見られるものの、いずれも緊急性はあまり高くないことや、利用者数が比較的多いことを踏まえ、当面は運用を継続することとしますが、今後の人口の推移や利用者数の減少を見据えて、将来的には、（新）図書館への集約化についても検討します。

③ 跡地活用の方針

馬頭図書館の移転後の跡地については、未利用公共施設として売却、貸し付けなど、町にとって有効な方法を検討します。

(2) 公民館の整備方針

① 整備の方向性

小川公民館については、劣化が著しく、大規模地震の際に倒壊する恐れが非常に高い（3-1 施設の現状と課題 (1) 施設概要参照）事や、改修、修繕には、多額な費用を要する点など抜本的な解決になりません。加えて、施設規模に対し現状稼働が低いことから、長寿化（建替え、大規模改修）を行うことで、今後稼働の少ない施設に設備投資をする必要が発生することから、（現）小川公民館は利用休止し、将来的に図書館を含めた複合施設へ移転することとし、当面は、同じく貸室機能を有する小川総合福祉センターや、馬頭福祉センター等で公民館活動（教室）を行います。

② 公民館のあり方

国の通達により、公民館は1自治体1施設設けることとなっていることから、公民館の機能を小川総合福祉センター等で公民館活動（教室）を行うことで、町としての公民館機能を廃止しないようにします。

3 公民館の設置及管理

- (1) 公民館の設置は各町村に於て各々その町村の必要とするところに基いて自ら企画立案するのを建前とすること。
- (2) 公民館の為に新に建築を起すことは困難であるから成るべく町村中心地区に在る最も適当な既設 建物例えば青年学校又は国民学校の校舎或は既存の道場，公会堂，寺院，工場宿舎，其の他適当な既設建物を選んで施設すること。学校以外に図書館，博物館，郷土館があれば之を公民館に併合し，又は之を公民館の分館として活用すること。私立に係る各種の施設で協議の上公民館に併合し得るものは併合すること。
- (3) 公民館は町村に各一ヶ所設ける外，出来得れば各部落に適当な建物を見付けて分館を設けること。
- (4) 公民館は町村立の営造物として町村に於て管理すること。

出典：公民館の設置運営について（昭和 21 年 文部科学省通達）

③ 跡地活用の方針

小川公民館には、文化財など貴重な資料が保管されていることから、速やかに移設し、施設の廃止に向け検討する。なお、施設廃止後は、跡地については、売却、貸し付けなど町にとって有効な方法を検討します。

(3) 整備計画

① 整備概要

- ・(新)図書館を含めた複合施設の利便性を損なわないよう、公共交通等も含め、町民が来館する際は、不便とならないよう検討していきます。
- ・(新)図書館の建設に際して、図書館機能のみに限定せず、公民館機能や他の機能と複合した複合化施設として検討していきます。
- ・複合化施設整備には、利便性の高い敷地に新築を前提として検討し、町にとって最善な方法で整備を行います。なお、整備完了までの期間は、現図書館・公民館施設の長寿命化対策とした予防保全改修は行わず、現有施設の設備故障などが発生した場合は、応急処置的な小規模修繕などで対応する事後保全とします。
- ・小川図書館は当面、運用を継続することとしますが、複合化施設整備の際は、人口の推移や利用者数の減少を見据えて、将来的には、(新)複合化施設への集約化を検討します。
- ・機能整備(移転)後の跡地については、未利用公共施設として売却、貸し付けなど、町にとって有効な方法を検討します。

② 計画の効果

- 馬頭図書館及び小川公民館の劣化を抜本的に解消することができ、耐震性の向上も図れます。
- 馬頭図書館及び小川公民館を建替え(移転)することで、利便性を向上することが期待できます。
- 図書館単独でなく、複合化することで、経済的なメリットや図書館以外での来館が見込め、高齢者から子どもまで全ての町民が賑わい活気が増します。
- 複合化により、図書利用者以外の施設利用者との交流が促進されるなど、相乗効果が生まれます。
- 町として複合化施設(図書館)を核とした有益な環境整備が可能となります。

③ 計画の課題

- 複合化施設(図書館)を整備(移転)することとなるため、新たに整備場所を確保する必要があります。

(4) 概算工事費およびライフサイクルコストの試算

① 概算工事費

ア 新築工事費 単価設定

「那珂川町公共施設等総合管理計画（令和 4 年 5 月改訂）」において、『社会教育系施設：40（万円／㎡）』と新築工事費単価が定められていますが、図書館については、内装・設備のグレードが他の公共施設よりも割高となることが想定されることから、1990 年以降に竣工された延床面積 4,000 ㎡以下の市町村立図書館における延床面積、本体工事費の事例収集を行い、得た㎡単価を「(国交省) 建設工事費デフレーター（建築総合）令和 7 年 2 月 28 日付」により 2024 年 12 月時点の工事費に補正した単価を本計画における単価として設定します。



表：図書館の工事費

自治体名	名称	延床面積 (㎡)	工事費 (円)	単価 (円/㎡)	竣工年月	2015年比 デフレータ	補正後単価 (円/㎡)
大分県竹田市	竹田市立図書館	1,577.62	749,520,000	475,095	2017年3月	101.3	613,919
大阪府松原市	松原市民松原図書館	2,987.33	1,223,000,000	409,396	2019年11月	108.2	495,286
福島県白河市	白河市立図書館	3,904.75	1,670,000,000	427,684	2011年1月	93.5	598,758
埼玉県飯能市	飯能市立図書館	2,784.46	897,900,000	322,468	2013年3月	94.9	444,796
山梨県昭和町	昭和町立図書館	882.95	283,281,930	320,836	1990年3月	86.7	484,399
栃木県茂木町	ふみの森もてぎ	2,978.00	1,500,000,000	503,694	2016年3月	99.5	662,648

上記 5 施設の補正後単価の平均値：550（千円/㎡）
を本検討における新築工事費の単価とします

イ 算出結果

アで設定した建設単価より、概算工事費を算出した結果は、下記の通りです。なお、(新)図書館の規模は、民間施設や交流スペース等、他の機能との複合化を見据え、現規模の「776.43 m²」を1.5倍した『1,164.65 m²』と想定して試算します。

単価 (円/m ²)	延床面積 (m ²)	概算工事費 (円)
549,968	1,164.65	640,516,971

※算出した金額はあくまで 2024 年度時点の概略の試算であり、今後新築を検討する際は、建設スケジュールを想定し、予定時期に応じた将来工事費を見込む必要があります。

② その他コスト

ア 大規模改修費

(文科省) 学校施設の長寿命化改修の手引 (平成 26 年 1 月) より、新築工事費の 7 割と仮定して算出を行います。

よって、本検討については①で算出した新築工事費の 7 割である『385 (千円/m²)』を大規模改修費の単価とします。

・・・建物の建築費は一般的に、構造が 3 割、設備が 3 割、仕上げが 3 割、その他諸経費が 1 割で構成されています。構造躯体 (柱、梁、壁、基礎等の構造耐力上主要な部分) を再利用する長寿命化改修では、構造躯体の新築工事がないため、新築と比べて工事費を 3 割程度下げることができます。・・・

出典：(文科省) 学校施設の長寿命化改修の手引 (平成 26 年 1 月)

イ 設計コスト、光熱水コスト、維持管理コスト、解体処分コスト、修繕コスト

「(国交省) 令和 5 年度 建築物のライフサイクルコスト」より、馬頭図書館、小川図書館を『小規模 M 庁舎』、(新) 図書館を『中規模 C 庁舎』として試算します。

■小規模 M 庁舎の LCC 集計表

LCC の費用分類		費用内訳	単価	モデル建物の延床面積 (m ²)
建設コスト	設計コスト	設計費・積算費	42,430 (円/m ²)	548.65
		調査費	6,360 (円/m ²)	548.65
		小計	48,790 (円/m ²)	548.65
運用コスト	光熱水コスト	電気・ガス・油代	1,588 (円/m ² ・年)	548.65
		上下水道料金	165 (円/m ² ・年)	548.65
		小計	1,763 (円/m ² ・年)	548.65

保全コスト	維持管理 コスト	定期点検・ 保守費	3,184 (円／㎡・年)	548.65
		清掃費	3,163 (円／㎡・年)	548.65
		小計	6,447 (円／㎡・年)	548.65
使用終了時 コスト	解体処分 コスト	解体工事費	22,200 (円／㎡)	548.65
		産廃処分費	27,900 (円／㎡)	548.65
		小計	50,100 (円／㎡)	548.65
修繕コスト		小計	9,694 (円／㎡・年)	548.65

■中規模C庁舎のLCC集計表

LCC の費用分類		費用内訳	単価	モデル建物の 延床面積（㎡）
建設コスト	設計コスト	設計費・積算費	30,460（円／㎡）	2,462.37
		調査費	1,620（円／㎡）	2,462.37
		小計	32,280（円／㎡）	2,462.37
運用コスト	光熱水 コスト	電気・ガス・ 油代	1,588（円／㎡・年）	2,462.37
		上下水道料金	165（円／㎡・年）	2,462.37
		小計	1,753（円／㎡・年）	2,462.37
保全コスト	維持管理 コスト	定期点検・ 保守費	2,384（円／㎡・年）	2,462.37
		運転管理・ 日常点検費	1,993（円／㎡・年）	2,462.37
		清掃費	2,808（円／㎡・年）	2,462.37
		小計	7,185（円／㎡・年）	2,462.37
使用終了時 コスト	解体処分 コスト	解体工事費	17,900（円／㎡）	2,462.37
		産廃処分費	20,800（円／㎡）	2,462.37
		小計	38,700（円／㎡）	2,462.37
修繕コスト		小計	8,216（円／㎡・年）	2,462.37

出典：(国交省) 令和5年度 建築物のライフサイクルコスト p.218,221

③ ライフサイクルコストの試算

ア 検討期間とロードマップ

耐用年数は80年、大規模改修時期は築40年目として試算します。

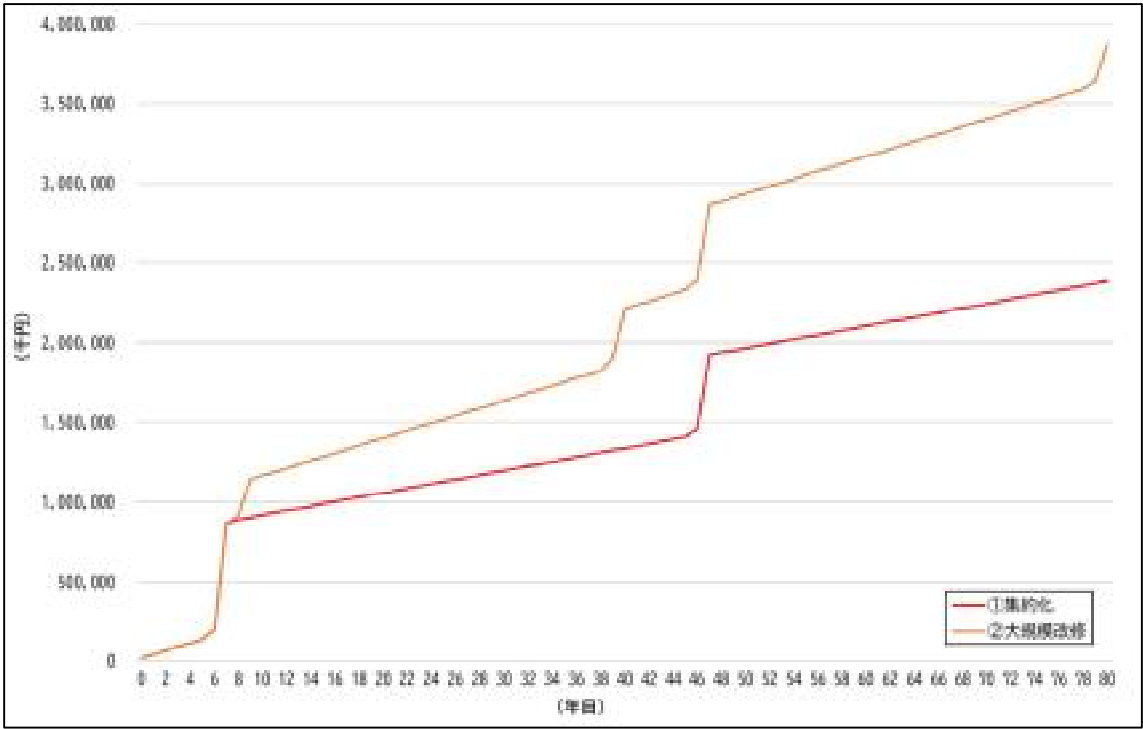
小川図書館については、人口の推移や利用者数の減少を見据えて、将来的に(新)図書館

への集約化を検討する計画としたため(2-2 整備計画の策定 ①整備概要参照)、将来的に「①集約化¹」した場合と、「②大規模改修」し、小川図書館の運用を継続した場合の2パターンの試算を行います。

		ライフサイクルコスト（LCC）検討期間																			
		0年	5年	10年	15年	20年	25年	30年	35年	40年	45年	50年	55年	60年	65年	70年	75年	80年			
馬頭図書館			▼移転・新築							▼大規模改修											
小川図書館	①集約化		▼移転																		
小川図書館	②大規模改修		▼大規模改修							▼解体・新築											▼大規模改修
										←既存建物		建築後80年									

イ 算出結果

試算した結果、小川図書館について「①集約化」を選択した場合は、今後 80 年で『約 24 億円』、「②大規模改修」を選択した場合は『約 39 億円』が必要となります。



¹ 小川図書館を廃止し、馬頭図書館を建替えた場合を指します。

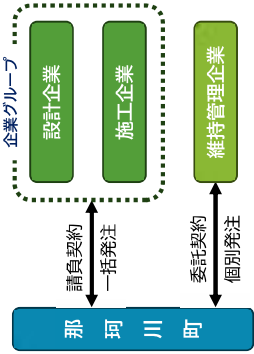
(5) 目標スケジュール

	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度	令和11年度 2029年度	令和12年度 2030年度	令和13年度 2031年度	令和14年度 2032年度	令和15年度 2033年度	令和16年度 2034年度
馬頭図書館											
(新) 複合化施設	社会教育施設 再編計画策定 ※本計画										
小川図書館											
小川公民館											

- 複合化施設【(新) 図書館】については、馬頭図書館の劣化状況を踏まえ、令和13年度の供用を目指します。
- 小川図書館については、当面は運用を継続することとしますが、人口の推移や利用者数の減少を見据えて、将来的に複合化施設【(新) 図書館】への集約化を検討します。
- 複合化施設【(新) 図書館】整備にあたっては、新複合化施設建設庁内検討委員会及び新複合化施設建設庁内検討委員会作業部会(3-2 参考 P27)を発足し、将来、町にとって有益な施設整備の検討をしていきます。
- 基本設計以降のスケジュールについては、通常方式（設計・施工・施工・維持管理分離方式）を採用した場合であり、官民連携手法の1つであるDB方式（デザインビルド方式）等を活用した場合は、工期短縮を図れる可能性があります。

<参考：DB方式（デザインビルド方式）の概要>

概要	町が資金調達を行い、民間事業者に設計・施工を一括・性能発注する。維持管理は従来どおり個別発注する。
特徴	設計/施工業者が連携することで、品質向上、工期期間短縮が図れるほか、町の設計リスク転移、施工時の調整事務が低減される



(6) 新複合化施設（新図書館）の方向性（提案）

① 基本的な考え方

ア 年齢層

図書館機能については、主に利用している児童・生徒・学生をメインターゲットとし、かつ、子育て世代にも使いやすい複合化施設を整備します。

イ 場所

広い駐車場が確保でき、安全に施設へ行き来することのできる場所であつ、将来的に新設の複合化施設を核とした有益な環境整備の可能性を秘めている場所を選定します。

② 全体像

ア 建物の内部

建物内は、図書館機能のほか、複合的な施設（各種活動等で利用可能なフリースペース、幼児の遊び場など）、の整備を検討します。加えて、快適性に配慮したうえで、飲食スペース（自動販売機、カフェ）等の民間機能の導入可能性についても検討します。

イ 建物の外部

広い駐車場を確保することに加え、賑わいのある施設とするため遊具を備えた公園を整備するなど検討します。

ウ 場所

未利用公共施設（旧学校）等の活用を基本とし、適した敷地がない場合は、民地を活用することも検討します。



▲イメージパース（生成 AI にて作成）



▲類似事例（埼玉県飯能市 飯能市立図書館）

3-2 参考

(1) 複合化施設建設等庁内検討委員会の設置

新図書館を含めた複合施設整備にあたっては、「複合化施設建設等庁内検討委員会」を設置し、各課の意見を広く求め、那珂川町にとって将来的に必要な施設等を調査、研究し、町としての整備方針をまとめるものとする。

○複合化施設建設等庁内検討委員会

役割：複合化施設を整備するにあたり作業部会より提起させてた内容を精査し各種課題に対する方針をまとめる。

構成：副町長、教育長、各関係課長



○複合化施設建設等庁内検討委員会作業部会

役割：複合化施設を整備するにあたり具体的な課題に対して調査研究、検討、提案し、複合化施設建設等庁内検討委員会に提起する。

構成：総務課、企画財政課、建設課、子育て支援課、学校教育課
上下水道課、生涯学習課、その他整備に特に必要とする関係課

(2) 小川公民館 令和5年度利用状況

諸室名	団体名	ジャンル	利用回数 (回/年)	R5における 平均利用人数 (人)	R5における 最大利用人数 (人)
大会議室	2区運動教室	会議/会合	1	13	13
大会議室	2区福寿会	会議/会合	3	12	14
大会議室	オピ研修	会議/会合	1	13	13
大会議室	スクールバス運転手打合せ	会議/会合	1	14	14
大会議室	ハミングコーラス練習	音楽	13	11	14
大会議室	ふれあい・いきいきサロン	会議/会合	2	15	20
大会議室	マウンテンエコーズ	音楽	51	11	15
大会議室	愛育会	音楽	1	15	15
大会議室	塩那台地土地改良区総代会	会議/会合	1	60	60
大会議室	楽しい運動教室	講座/教室	1	17	17
大会議室	公民館講座	講座/教室	16	27	40
大会議室	小川リコーダー愛好会	音楽	1	7	7
大会議室	西の原用水土地改良区連合	会議/会合	2	45	60
大会議室	那珂川ジャズクラブ	音楽	3	6	8
大会議室	那珂川更生保護女性会	会議/会合	1	15	15
大会議室	那珂川町母子寡婦福祉会	会議/会合	1	18	18
大会議室	那須・与一・DSC	会議/会合	67	4	5
大会議室	脳活いきいきタイム	会議/会合	9	14	17
大会議室	文化協会理事会	会議/会合	1	20	20
大会議室	文化祭運営委員会	会議/会合	1	18	18
大会議室	専門部会議	その他	1	18	18
大会議室	選挙関係	その他	9	351	595
大会議室	電子図書館音声資料録音	その他	2	4	4
和室	NA那珂川グループ	-	48	5	7
和室	あじさいの会	-	40	5	7
和室	あじさいヨガ	ダンス/体操	6	5	5
和室	さくら清修百人一首部	その他	2	3	3
和室	らくらくクラブ	-	1	5	5
和室	わくわくヨガクラブ	ダンス/体操	43	4	7
和室	囲碁クラブ	その他	50	10	16
和室	小川地囃子保存会	音楽	46	7	13
和室	栃木県書道連盟南那須支部理事選出会	会議/会合	1	2	2
第1研修室	2区福寿会	会議/会合	1	12	12
第1研修室	那須・与一・DSC	会議/会合	1	5	5
第1研修室	切り絵あすなろ会	その他	10	7	8
第1研修室	まほろば絵画クラブ	その他	41	6	7

諸室名	団体名	ジャンル	利用回数 (回/年)	R5における 平均利用人数 (人)	R5における 最大利用人数 (人)
第1研修室	ハーモニカ・めだかの学校	音楽	17	5	7
第1研修室	町文化協会茶道部役員会	会議/会合	1	5	5
第1研修室	小川俳句人会	その他	19	3	5
第1研修室	神社総代打合せ	会議/会合	1	12	12
第1研修室	那珂川更生保護女性会	会議/会合	8	12	14
第1研修室	第九を歌う会役員会	会議/会合	1	8	8
第1研修室	参九会	会議/会合	1	13	13
第1研修室	文化協会茶道部役員会	会議/会合	2	5	5
第1研修室	南那須退職校長会研修会	会議/会合	1	19	19
第1研修室	小川ゆうゆう直売所臨時総会	会議/会合	1	20	20
第1研修室	母子寡婦福祉会・那珂川町那須烏山市	会議/会合	1	40	40
第1研修室	那珂川町土地改良区理事会・幹事会	会議/会合	1	20	20
第1研修室	オビ定例会	会議/会合	1	15	15
第1研修室	那珂川スクール	講座/教室	2	16	20
第1研修室	那珂川町土地改良区	会議/会合	4	15	25
第1研修室	花の風まつり	その他	2	20	33
第1研修室	大新東(株) 運転手打ち合わせ	会議/会合	1	15	15
第1研修室	那珂川町母子寡婦福祉会	会議/会合	1	21	21
第1研修室	まほろばがたり研修会	会議/会合	1	7	7
第1研修室	スクールバス運転手打合せ	会議/会合	1	16	16
第1研修室	那珂川町土地改良区理事会	会議/会合	1	20	20
第1研修室	整枝・剪定講習会	講座/教室	2	16	16
第1研修室	まほろばの里スポーツクラブ代表者会	会議/会合	1	16	16
第2研修室	楽楽クラフトの会	その他	16	8	10
第2研修室	小川パソコン教室	講座/教室	5	4	5
第2研修室	那珂川町母子寡婦福祉会総会	会議/会合	1	21	21
第2研修室	那珂川町青年団	会議/会合	1	7	7
第2研修室	楽楽クラフト教室	その他	1	10	10
第2研修室	切り絵あすなろ会	その他	42	8	8
第2研修室	楽楽クラフトクラブ	その他	1	8	8
第2研修室	那珂川スクール	講座/教室	1	12	12
第2研修室	小川中学校卒業生同級会	会議/会合	1	5	5
第2研修室	花の風まつり打ち合わせ	会議/会合	1	7	7
第2研修室	漁協小川支部	会議/会合	1	8	8
第2研修室	スクールバス運転手打合せ	会議/会合	1	15	15
第2研修室	ゆうゆう農産物直売所総会	会議/会合	1	12	12
第2研修室	南那須退職校長会役員会	会議/会合	1	3	3

(3) 概算工事費単価の参考とした事例の詳細

① 竹田市立図書館

名称	竹田市立図書館
住所	大分県竹田市大字竹田 1 9 7 9
規模	敷地面積：2,800.88 m ² 建築面積：1,239.37 m ² 延床面積：1,577.62 m ²
階数	地上 2 階
構造	RC 造（一部 SRC 造）
竣工年月	2017 年 3 月
工事費	749,520,000 円



② 松原市民松原図書館

名称	松原市民松原図書館
住所	大阪府松原市田井城 3 - 1 - 4 6
規模	敷地面積：1,643.57 m ² 建築面積：1,043.24 m ² 延床面積：2,987.33 m ²
階数	地下 1 階、地上 3 階
構造	RC 造（一部 S 造）
竣工年月	2019 年 11 月
工事費	建築：933,217,000 円、土木：16,083,000 円 電気：90,100,000 円、機械：183,600,000 円、総工費：1,223,000,000 円



③ 白河市立図書館

名称	白河市立図書館
住所	福島県白河市道場小路 9 6 - 5
規模	敷地面積：22,119.05 m ² 建築面積：2,909.44 m ² 延床面積：3,904.75 m ²
階数	地下 1 階、地上 2 階
構造	RC 造（一部 S 造）
竣工年月	2011 年 1 月
工事費	約 1,670,000,000 円



④ 飯能市立図書館

名称	飯能市立図書館
住所	埼玉県飯能市山手町 1 9 - 5
規模	敷地面積：6,291.85 m ² 建築面積：2,164.42 m ² 延床面積：2,784.46 m ²
階数	地上 2 階
構造	RC 造（一部 S 造）
竣工年月	2013 年 3 月
工事費	約 897,900,000 円



⑤ 昭和町立図書館

名称	昭和町立図書館
住所	山梨県中巨摩郡昭和町押越5 7 5 番地
規模	敷地面積：4,620.72 m ² 建築面積：882.95 m ² 延床面積：882.95 m ²
階数	地上 1 階
構造	RC 造（一部 S 造）
竣工年月	1990 年 3 月
工事費	約 283,281,930 円



⑥ ふみの森もてぎ（茂木町）

名称	ふみの森もてぎ
住所	栃木県芳賀郡茂木町茂木 1 7 2 0 - 1
規模	延床面積：2,978.00 m ² （図書館部分：1,000.00 m ² ）
階数	地上 2 階
構造	RC 造＋木造
竣工年月	2016 年 3 月
工事費	約 150,000,000 円 ※総事業費



第4章 計画の継続的運用指針

4-1 情報基盤（データベース）の整備

施設の基本情報、維持管理費等の管理費や劣化状況調査結果、修繕・更新履歴等を一元的に管理することで、計画的かつ効率的な管理を推進します。

一元的な管理データについては、庁内で共有し、固定資産台帳などとの連携を図り、施設の評価を検討していくとともに、全庁的、横断的かつ効率的な管理・運営に努めます。

4-2 推進体制等の整備・構築

総合管理計画の所管課である総務課による全般的な基準・方針等を踏まえながら、施設の整備・管理の所管課である生涯学習課が中心となって、本計画をもとに施設マネジメントを実施していきます。

また、施設の維持管理については、法定点検や各施設の職員による劣化度評価マニュアルを用いた劣化状況調査等により、不具合の早期発見と改善対応を図ります。

4-3 フォローアップの検討

計画の進捗状況を把握・評価し、状況に応じて適切に改善を行います。そのため、PDCAサイクルの考え方に基づいて計画の推進に取り組みます。特に、本計画の見直しに際しては、長寿命化の実施状況、建物の状態等の検証を行います。

